

認知症に関する活動計画（概要）

神奈川県作業療法士会では2015年度から認知症対策委員会を設置し、会員に対する知識向上や関連団体・機関との連携を深める活動を続けています。

今年度は他職種や一般の方も参加できる形の研修会を開催して、認知症を取り巻く社会情勢の中で作業療法士ができることを考えていきます。

県内の当事者団体や家族会、関連団体との連携や地域活動に積極的な参画ができるよう、活動部員の拡大を図っていきます。

認知症月間でのイベントの企画

認知症対策委員会の部員が運営に携わっている『RUN伴+三浦半島』の活動に県士会としても後援をしています。

また、認知症のイメージカラーであるオレンジ色の県士会ロゴマークを作成し、認知症月間中に行われる県士会イベントや刊行物にはこのロゴマークをもとに広く認知症の理解を啓発していきます。



『RUN伴+三浦半島』の様子

認知症の人と家族の会との連携事業

県内にある認知症関連団体とつながりを持ち、若年性認知症を含む本人・家族会の活動に部員を派遣しています。今年度は『認知症をにんちしよう会』が主催するイベントに参加してコグニサイズ等の啓発やご本人ワークショップへのフォローをしています。

また、ご家族向けに「家族支援プログラム」として認知症のリハビリに関する講演を継続的に行っています。



県士会ロゴマーク オレンジVer

研修会事業（ご本人・ご家族参加型）

県士会員の認知症に関する継続的な知識向上を目的とする研修会を年2回開催しています。

認知症に関する評価や生活行為への関わり方、目標設定の方法についてを学ぶ「アップデート研修（臨床編）」に加えて、制度や社会資源、共生社会に向けた地域の実態を知る「アップデート研修（地域編）」を通じて、認知症になっても誰もが活躍できる社会についてご本人やご家族と一緒に学ぶ機会を設けています。



『アップデート研修（地域編）』の様子